

周年プロジェクト

Web制作進行

新商品開発

組織改革

新規事業立ち上げ

目の前にやるべきことが次々現れ
「無駄に時間をかけている」と感じていませんか？

プロジェクトマネジメント基礎講座

2017年10月24日(火) 1日集中

その仕事、

なぜやるの？

どこまでやるの？

いくらでやるの？

いつまでにやるの？

だれがやるの？

それで大丈夫なの？

大きなテーマは与えられたが、
具体的な評価基準もなく、
どこからどこまで計画・実行すれば
よいか分からない

時間がないため
「とりあえずやって」と指示をしたが、
一週間後、誰も動いていなかった

「やらなければ」と思いながら、
目標を達成させるための具体的な
アクションまで計画できておらず、
なかなか手をつけられない

結局すべて自分で進める羽目になり、
本業が後回しになってしまう

順調に進んでいた企画も、
突然ひっくり返され振り出しに
戻ってしまう…

違う部署の人や先輩もチームにおり、
指示を出しづらいうえ、出しても
なかなかやってももらえない

あらゆるミッションを成功に導くためのセオリーは
「プロジェクトマネジメント」のスキルに隠されている

- ▶ 営業
 - ▶ Web担当者
 - ▶ 商品企画担当者
 - ▶ マーケティング担当
 - ▶ ディレクター・プロデューサー
- などプロジェクトチームでの仕事が多い方

場当たりのなアクションや問題対処で 自ら忙しい方向に走ってしまっている…

次から次に想定外の壁が現れ、 時間も労力もかかってしまう

はじめにこの仕事を達成させるまでの道のりを十分にシミュレーションできていないと、急に挙がってくる「あれはどうするの?」という一言に振り回されてしまいます。その都度、関係者が誰かを調べ、その人にコンタクトをとって確認し、NGであればまたそこから考え直し…と非常に手間取ります。はじめから「やること」と「今回はやらないこと」を明確にし、ゴールまでの最短距離を見極めておくことが必要です。

担当として周囲を巻き込み 最良の結果を導き出すために

あるミッションを与えられ、メンバーも集まったところで、具体的なゴールやタスクを共有できていなければ、積極的に関わってくれる人などほんの一握りです。日常の業務とは異なり、正しい進め方がないとはいえ、ある程度の方向性を提示し、メンバーが即動ける状態に仕立てる必要があります。本講座では、正解がない中で人を動かしながら仕事を成功させる方法を「プロジェクトマネジメント」の切り口から学びます。

失敗の要因となる3つの「曖昧」

ゴールが曖昧

成功基準が明確化されておらず
メンバーも共通認識を持っていない

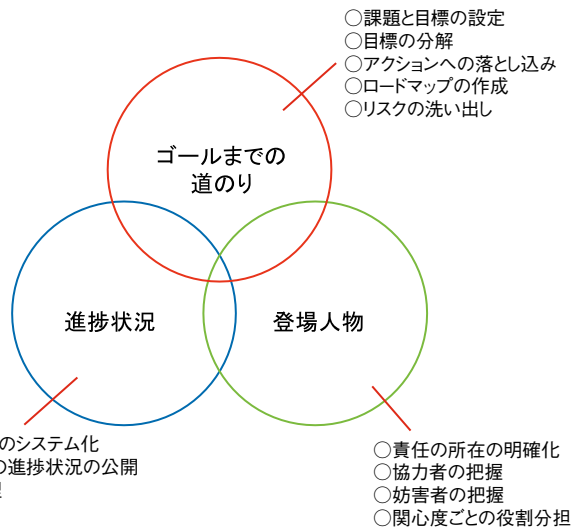
計画が曖昧

具体的なスケジュールに落とし込んだ
アクションをしっかりと組んでいない

役割が曖昧

各自のポジションが不明確で
都度作業を適当に振っている

「曖昧」からの脱却方法=見える化



ゴールまでの道のり

仕事の大枠のゴールは指示として与えられても、周りの人に合意をとって進めていくためには、それをやることによる効果や目標などを提示しなければなりません。そのためには、ゴールの意味するところを一つ一つ分解し、達成のために組み直していくスキルが必要です。

進捗状況

計画を立てられたところで、計画倒れになってしまっただけでは意味がありません。大半が期限通りに進まないという前提を理解した上で、いかにしてそれを避けるか、その仕組みをつくるのが成功への近道となります。また、どのタスクが遅れているのか、それによりどこにシワ寄せがくるのかまで見通し、先手を打たなければ、最悪プロジェクトが頓挫してしまうこともあります。

登場人物

他部署や外部スタッフなど、立場の異なるメンバーで進める場合に難しいのは「人を動かすこと」です。モチベーションが異なる中、皆に同じだけのタスクを与えて同じように接しても、全体としてうまく回りません。重要なのは、メンバーや関係者の意向を把握し、協力的な人のバックアップを得ながらアクセルを加速させることです。

講座のPOINT：プロジェクトで成果を上げるための方法と考え方のプロセスを学ぶ

- 1 大きな目標から、達成できるレベルまで必要な要素に**分解する力**
- 2 分解した要素を順序立てて実行可能な範囲で**計画を立てる**
- 3 スケジュール通り進めるための**管理進行方法と評価基準**

本講座で学ぶこと

整理篇

曖昧な目標を分解することでミッションと成果を明確にする

抜け漏れを防ぐ「10の視点」を身に付け 都度確認するロスを防ぐ

与えられたミッションを成功させるためには、スタート時点で「曖昧」をなくすことがカギを握っています。右図のように、例えば「朝、たまごを焼いて」と指示された際には、あらゆる「曖昧」な点が潜んでいます。しかし、そこに体系化した「気にすべき視点」がないと、必ず確認漏れが発生し、相手が望んでいるたまご料理を提供することができません。本講座では、「曖昧」な点に見える化するためのフローを学び、ざっくりとしたオーダーをより細かなタスクへと落とし込んでいくノウハウを学びます。

例)「朝、たまごを焼く」という指示に、どれだけの「曖昧」が隠れているか。

指示を進めるうえで確認すべき要素

誰がたまごを買ってくるのか?	スコープ
どのくらい時間がかかるのか?	タイム
いくらのたまごを使うのか?	コスト
卵焼き、目玉焼き、オムレツ?	品質
誰が手伝ってくれるのか?	人的資源
作った後はどうするのか?	コミュニケーション
失敗したらどうするのか?	リスク
フライパンはどれを使うか?	機具
誰が食べるのか?	ステークホルダー

プロジェクトではこの10の視点をもって相手と共通の認識を進めなければ徒労に終わることもある

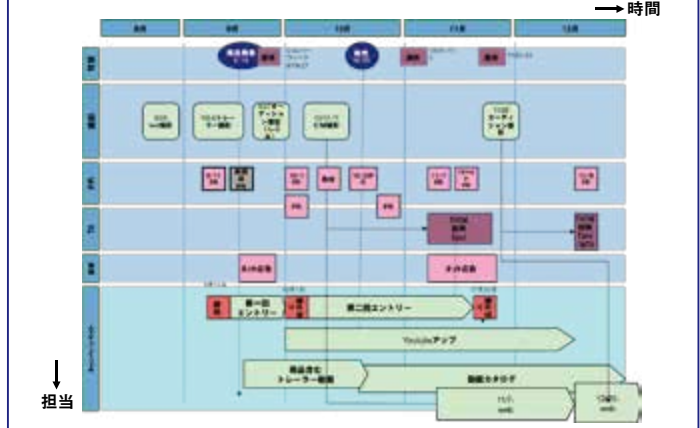
計画篇

目標を達成するための最善のアクションプランを立てる

先々まで各自のタスクを全員にオープンにし、 「やらなければならない」状況をつくる

オーダーの真の意図を握ったら、次はそれを達成するために具体的なタスクを洗い出し、スケジュールと役割分担に見える化する必要があります。タスクを分解し、配分していく際にも成功・失敗の道に分ける視点が存在します。例えば、内容を明確に理解しづらい立場の人間をアサインしていないか、一つの作業に複数担当をつけ二度手間に感じられる工程になっていないか、など、物事をできるだけストレスなく進めるためにはコツがあります。本講座では、単なるスケジューリングの方法ではなく、現場で起こるリアルな障壁を突破するためのセオリーを学びます。

誰がいつまでに何をやるのかに見える化する



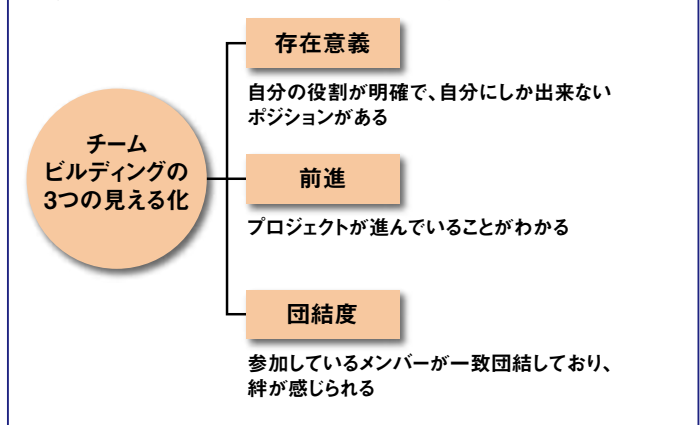
実行篇

担当を明確にし、適切に業務を割り振る

チーム全体のモチベーションは 積極的な協力者を見つけられるかが鍵を握っている

計画を立て、ゴールまでの見通しが立ったところで、実際に進行しなければ意味がありません。しかし、本業を別に持って参加しているメンバーは、タスクを後回しにしがちです。また、主要メンバー以外にも、必ず同意を求めていくフローが発生しますが、そこで予想外に難航し、途中で止まってしまう、などのリスクも考えられます。着実に前進させるためには、進行の管理体制と事前の登場人物の把握がものを言います。本講座では、これらをうまく活用し、メンバーの参加意欲もコントロールしながら成功へと導くTIPSを学びます。

表面化しづらいことをいかに目に見える形にできるかが重要



カリキュラム

時間	講演テーマ	講義概要	講師
10:00 } 12:00	【プロジェクトマネジメントとは】 何を実現するためのものかを理解する	なぜプロジェクトマネジメントが必要なのか/プロジェクトマネジメントのスキルで解決できること/プロジェクトマネジメントができるようになるためのステップ	山口 周氏
13:00 } 15:00	【プロジェクトリーダーに必要な視点】 確認事項を明確にする	大きなミッションは何か/曖昧な点を見える化するための「10の視点」/関係者と同じ認識を持つ/人的資源のマネジメント/コミュニケーションマネジメント/プロジェクトマネジメント計画書の作成/確認事項の明文化/曖昧をなくすための作業分解/ワーク	重松 佑氏
15:20 } 17:20	【プロジェクトの実行】 スムーズな進行と成果に向けて	プロジェクトのコンセプトづくりで共通認識を持つ/プロジェクトを進める方法の選択/パートナーとなるための動き方/「コンセプトマップ」をつくるワークショップ	重松 佑氏

※講師・カリキュラムは変更となる可能性がございます。

講師陣

元広告会社で、現在はリーダーシップ開発を牽引。
『外資系コンサルが教えるプロジェクトマネジメント』の著者



山口 周氏

株式会社コーン・フェリー・ヘイグループ
シニア・クライアント・パートナー

慶応義塾大学文学部哲学科卒業。同大学院文学研究科美学美術史学専攻修士課程修了。電通、ポストン・コンサルティング・グループ、A.T.カーニー等を経て2011年より組織開発を専門とするコーン・フェリー・ヘイグループに参画。専門はイノベーション、組織開発、人材/リーダーシップ育成、キャリア開発、新しい働き方を研究。著書に「20代は残業するな」「外資系コンサルのプロジェクトマネジメント術」「外資系コンサルのスライド作成術」他。

複雑なWebのプロジェクトを数多く担当。
グレーゾーンを避ける術を網羅!



重松 佑氏

株式会社ロフトワーク
シニアクリエイティブディレクター

映像業界、Web業界を経てクリエイティブエージェンシーの株式会社ロフトワークに入社。UXデザインプロモーション、ブランディングツール制作、アプリ制作、映像制作など、プロジェクトマネージャーとして幅広く制作全般を手がける。良いビジネスは良いチームから生み出されるという考え方を基に、チームビルディングを大切にプロジェクトデザインを行う。ワークショップ設計、コンセプト立案など、ブランディングを得意としている。ミュージックビデオ・ビデオアートの映像作家としてもときどき活動中。

講座概要

- 開講日時:2017年10月24日(火)10:00~17:20
- 受講定員:40名
- 受講料金:49,000円(税別)※申込金5,000円含む
- 開催会場:東京・表参道
- 受講対象:社内のプロジェクトリーダー、マーケティング担当、Web担当、商品企画担当、ディレクター、プロデューサーなど

お申込みはWebから またはこちらまで
FAXにてお送りください

03-3475-3033

- 『宣伝会議』年間購読なし 49,000円(税別)※申込金5,000円含む 『宣伝会議』年間購読パック 60,556円(税別)※申込金5,000円含む
本講座受講料のみ 本講座受講料+『宣伝会議』年間購読受講生割引(20%オフ)

*『宣伝会議』は受講料をお支払いいただいた日の翌月1日から下記希望連絡先のご住所まで配送いたします。

プロジェクトマネジメント基礎講座 お申込み者情報記載欄	会社情報	会社名	TEL		
		住所			
	申込者様	氏名	所属部署	役職	生年月日
		Eメール			19 年 月 日
	派遣責任者様	氏名	所属部署	役職	生年月日
		Eメール			19 年 月 日
申込形態		①企業申込(請求書を発行します) ②個人申込		宣伝会議からの情報 ①いる ②いない ③すでに届いている	

お振込み先 三菱東京UFJ銀行 青山支店 普通 1145602 口座名義:株式会社宣伝会議

※受講料について、開講前のご入金を原則とさせていただきます。入金が確認できませんと受講いただけませんのであらかじめご了承ください。※受講は申込者本人に限ります。他人に貸与・譲渡することはできません。※お申込み後のキャンセルは原則承っておりません。お席をお取りしておりますので、ご都合が悪くなってしまった場合は、代理の方によるご出席等をお願いいたします。※一旦納入された申込金・受講料は、受講前・受講途中にかかわらず、いかなる理由であっても払い戻しや次期への振り替えはできません。※天候不順によるアクシデントや講師の都合、受講者数が一定数を下回った場合等、諸事情により直前に開講日程が変更となる場合がございます。その際、交通費の保証はできませんのでご了承ください。※弊社と発注者は互いに暴力団、及びその他の反社会的勢力に該当しないことを表明・確約します。万が一、上記に反していることが判明した場合には、直ちに無条件で本契約を解除します。※弊社と同様の教育講座を開催している企業、人材紹介業、受講生への営業・勧誘等を目的とする受講等に関しましては、審査の上、お申し込みをお断りする場合がございます。また、お申し込みから審査までの間に、ご請求書類の発送など、決済処理の進行が行われる場合がございます。あらかじめご了承ください。※本申込書により宣伝会議が取得した個人情報を受講手続きや各種連絡、講座運営、ダイレクトメールなどの方法で出版物や講座、イベントのご案内等をお送りするために利用します。プライバシーポリシー(<http://www.sendenkaigi.com/privacy/>)をお読みいただき、同意の上、お申し込みください。

■お申込・お問合せ

株式会社宣伝会議 〒107-8550 東京都港区南青山3丁目11番13号

TEL: 03-3475-3030 E-mail: info-educ@sendenkaigi.com www.sendenkaigi.com/class/

